

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年8月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【使用済燃料乾式キャスク仮保管設備の実施計画における動的変形特性グラフの誤りについて】</p> <p>協力企業作業員が、使用済燃料乾式キャスク仮保管設備の拡張検討にあたり実施計画の記載内容を確認したところ、認可済みの実施計画のグラフに誤りがあることを確認。</p> <p>誤り箇所は、地震応答解析に用いる地盤改良体の動的変形特性グラフの横軸の数字をパーセントで記載すべきところ実数で記載してしまった。(例:1(パーセント)を0.01と記載)</p> <p>なお、実施計画の地震応答解析結果について確認し、用いた動的変形特性の数値に誤りがないことを確認済み。今後の対応および、再発防止対策を検討。</p>	G II	7月27日
2	<p>【陸側遮水壁設備の通信機器の不具合について】</p> <p>当直員が免震重要棟集中監視室において、陸側遮水壁設備、および、リチャージウェル設備(※)に通信異常を知らせる警報発生を確認。</p> <p>集中監視室制御盤でパラメータを確認したところ、ヘッダー管(3BLK-H2~6)の送り・戻り流量10箇所の指示が、各々550~850L/min程度を指示すべきところ0L/minであることを確認。</p> <p>また、プラント1系のライン総流量指示が送り・戻りとも3000L/min程度減少していることを確認。</p> <p>以下のことより、通信機器の不具合によりヘッダー管の一部が集中監視室で確認できなくなったものと推定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント1系2系の運転状態に異常なし、ラインタンク水位に変化なし、ヘッダー管(3BLK-H2~6)周りに漏えいがないことを確認。 ・ヘッダー管(3BLK-H2~6)の送り・戻り各流量は現場で監視可能であり、指示値に異常がないことを確認。 ・本来点灯している計測器盤のHUB通信ランプが消灯していることを確認。 <p>集中監視室にて他のヘッダー管流量は確認可能であり、ラインタンク水位に変動がないことから系統の運転に支障はない。</p> <p>なお、HUB通信ランプが点灯しておらず、HUB本体の異常が考えられるため、今後、当該HUBを交換予定。</p> <p>※リチャージウェル設備：陸側遮水壁設備周辺の地下水管理において、建屋水位が地下水位以下の状況を維持するため地下水に注水をすることで、地下水位の確保をするための設備</p>	G III	7月31日